

省エネルギーに向けた協力依頼

平成28年3月15日
経済産業省

厳しい電力の需給状況に対応するため、以下の省エネルギーに関する対応をお願いいたします。

【空調】

- 暖房は19℃以下を目安に現在の設定より低くする。
- 暖房機器は不必要なつけっぱなしをせず、運転時間を短縮する。
- 暖房効果を高める工夫をする。
 - ・エアコンのフィルタの清掃
 - ・ウォームビス(暖かい服装をする)
 - ・夜間におけるブラインド・カーテンの使用

【照明】

- 人のいない部屋の照明は、可能な限り消灯する。
 - ・昼間:廊下、ロビー、エレベーターホールの照明の全消灯
 - ・昼間:執務室内窓側・廊下側照明の全消灯
 - ・夜間:安全確保のための最小限の照明に制限
 - ・昼休みの消灯の徹底
 - ・終業時の一斉消灯
 - ・建物の外側(野外連絡通路灯、駐車場灯、庭園灯など)の消灯
- 照明は、省エネルギー型の蛍光灯や電球形蛍光灯、LEDを使用する。
- 広告・ネオン等の点灯をできるだけ控える。
 - ・点灯時間の短縮・消灯

【エレベーター・エスカレーター】

- エレベーター・エスカレーターの使用をできるだけ控える。
 - ・エレベーターの稼働台数を概ね半分以下に
 - ・エスカレーターの運転は必要最小限に
 - ・近くの階への昇降は階段を使用(2アップ、3ダウン)

【トイレ】

- 温水洗浄便座、手洗い用電気給湯器の電源を切る。

【事務機器・電気機器】

○事務機器やテレビの使用をできるだけ控える。

- ・長時間席を離れる、使用しない場合には、こまめにPCをシャットダウンする
- ・プリンター、コピー機、複合機等は必要最小限のもの以外は電源を切る
- ・コピー、プリントアウトの量を必要最小限に
- ・誰も見ていないテレビはスイッチを切る

○冷蔵庫の庫内は季節にあわせて温度調整をし、効率的に使用する。

- ・詰め込みすぎない
- ・冷蔵強度を適切に(強→中)
- ・無駄な開閉をやめる

○給湯器、電気ポット、コーヒーマーカー、電子レンジの電源を切り、コンセントを抜き、待機時消費電力を削減する。

【エントランス・庭】

○自動ドアの電源を切る。

○噴水や滝の運転を停止する。

【自動車】

○外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用する。

- ・社用車の使用抑制・効率的利用に努める。

○運転の際には、ふんわりアクセル、加減速の少ない運転、早めのアクセルオフ、アイドリングに気を付ける。

【社内体制】

○省エネルギーのための社内体制を整備する。

- ・省エネルギー担当部署・担当者の設置
- ・省エネルギー委員会などの専門組織の設置
- ・職員への対策周知

○家庭での省エネルギー対策について、職員及びその家族へ周知徹底する。

【生産・営業体制】

○生産・営業体制の合理化により省エネルギーを一層強化する。

【その他】

○電気、ガス、石油機器等の導入は、省エネルギータイプのものを選択する。